

か み

議 会 だ よ り

3月定例会 第9号

平成19年5月10日発行
発行 兵庫県香美町議会
編集 議会広報特別委員会
電話 0796-36-1111
<http://www.town.mikata-kami.lg.jp/>

— CONTENTS —

- 平成19年度スタート 2
- 使用料、手数料が上がりました 6
- 住民の声 届くか (11人が一般質問) 11～16
- この人 ここにあり 18



元気です。新一年生 (香美町立柴山小学校)

企業会計

総額

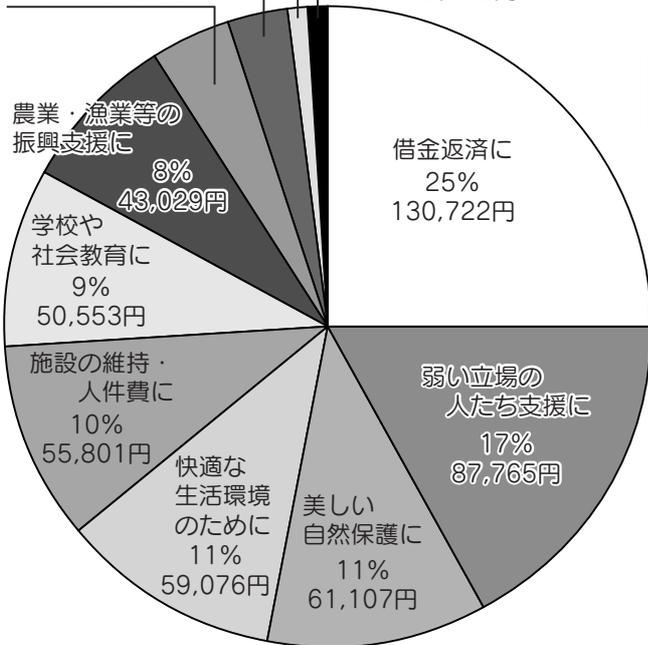
236億円



まちの未来を託す

商業の活性化のために 3% 15,464円
 まちの方向づけのために 1% 4,847円

安心なまちづくりに 4% 22,786円
 その他 1% 3,143円



一般会計

町民一人当たり

53万4293円の使いみち

3月定例議会に総額236億円の平成19年度一般会計及び特別・企業会計予算が提案されました。その内、一般会計予算は、対前年度比26億8000万円、18.4%減の118億7200万円で、町民一人当たり53万4293円になります。

歳入は、公有財産の売却や使用料・手数料の見直しで約1億500万円を確保し、歳出では、新規事業の抑制、人件費・扶助費・補助金の見直し等で約2億9500万円を削減し、収支を調整しています。

7日間に及ぶ予算特別委員会で各部署ごとに審査を行い議会最終日に反対討論、賛成討論の後、賛成多数で原案通り可決しました。



豊作を願う

平成19年度 一般・特別



海の幸、本番は近い

総務部

質疑

議長を除く全議員で構成する予算特別委員会審査では、昨年度の見直しに重ねての負担増で住民生活や地場産業振興、若者定住への悪影響、少子高齢化の拡大、社会文化活動の停滞、集落活動維持の不安等々を懸念する質疑が多く出され活発に展開されました。

主な審査の内容は、以下の通りです。

問 土地売却収入が1億円見込まれているが、売却する土地の選定基準と件数、及び売却方法は

答 選定基準は、長期に調整が必要な土地を除き、値上がりが見込めず、売却単価の高いもの。今回は、香住区は法務局跡地ほか5件、村岡区は、旧村岡病院跡地ほか4件、小代区は、浜坂高校美方分校跡地の1件で計12件を予定しています。

売却方法は、最低価格を設定して公募型一般競争入札を実施し、最高価格提示者に売却します。

問 最低価格設定の透明性をどう確保するか

答 不動産鑑定士に委託し、公示価格・実勢価格を参考にするとともに、裁判所の競売価格設定方法も加味して決定します。

問 まちづくり交付金事業の内容は

答 平成17年度から21年度の5年間にわたる事業で、

健康福祉部

質疑

問 福祉タクシー事業委託料の内容は

答 村岡区のみで、路線バスの通らない地域の通院方策として65歳以上の高齢世帯を対象にしています。10集落の対象者に週に1回限定の無料定期券を交付し、3集落には、月1回の利用券を発行しています。

問 火葬場の工事請負費、及び新施設をどう考えているか

答 1号炉の補修費用です。修理すれば7、8年は維持できますのでその時期を目途に全町的な施設を考えます。

問 保育所通園バス運行委託料の内容は

答 5箇所のへき地保育所の廃園に伴い、関係地域園児が民営保育所に通園のためバス運行委託料です。

今年度は、入江住宅4戸建設、射添小学校上流の矢田川沿いに大型プラントアを購入、及び村岡商店街の道路（東上新町線）の側溝整備を予定しています。

問 入江住宅の建設予定は、28戸でなかったか

答 当初はその通りでしたが、財政事情を考慮して、最終的には、今年度と来年度で8戸の建設を予定しています。

問 行財政改革推進監理委員会の構成と役割は

答 非常勤の指導者3人を1人にして有償ボランティアを1人雇用します。有償ボランティアア分の半額を保護者に負担していただくためです。

問 放課後児童健全育成事業費の減額理由は

答 非常勤の指導者3人を1人にして有償ボランティアを1人雇用します。有償ボランティアア分の半額を保護者に負担していただくためです。

問 保育料の多子軽減制度変更の内容は

答 現在は、在保育所園児の2人目は2分の1、3人目は10分の1の減額となっていますが、制度変更によ

答 5名の委員会構成で4月には立ち上げ、改革を集中的に取り組まなければならない平成20年度までの設置を考えています。役割としては、行財政改革推進のために設定した数値目標の進捗監理とその検証をお願いするつもりです。

問 委員会の位置付けと権限は

答 監査委員、議会の権限を侵すものではなく、あくまでも行財政改革大綱推進・監理のみを受け持つ委員会です。

問 敬老会補助金の内容と対象人数は

答 各集落区に75歳以上の高齢者一人につき800円の補助をします。対象人数は、19年4月1日現在、香住区が1785人、村岡区が1309人、小代区が596人で合わせて3690人になります。

建設部

質疑

問 山手土地区画整備組合運営補助金の内容と売却の用途は

答 香美町土地区画整備事業助成要綱に基づく600万円と組合職員給与の2分の1の80万円を組合運営助成金として計上しています。

土地売却は組合が主体的に行い、本年度は、保留地

の一部の37区画分を販売したいと考えています。

問 道路新設改良費、土地購入費について、箇所、面積、単価は

答 香住港湾線の道路改良に係る土地です。面積は約600㎡で、単価は県の補償基準等により算出しています。

問 建設部の行財政改革の考え方、予算編成に当たつての点検項目は

答 大変厳しい財源状況で

あり、投資的経費12億円削減の中で新規の事業化はできずに補助対象事業の継続分になっています。

また、事業完了年度の延伸、道路等の維持管理の直営推進、原材料支給による事業化など事業の見直しを行っています。

問 国道482号線の平成19年度整備区域は

答 蘇武トンネルから村岡地域局間の雪崩防護策工事、石寺地内100m程度の道

路改良工事、長板バイパス上側から小代区方面への工事測量調査、大谷バイパスの県事業評価を予定しています。

問 道路維持関係諸事業とは

答 予算計上しています1000万円の約半分は緊急を要する小規模な道路補修や応急処置等の工事費で、残りは各区の要望箇所に対応します。

香住病院

質疑

問 今後の医療計画は、赤字削減改善計画は

答 平成20年度当初から、介護、老健施設へ。2億円程度、収益が上がる見込みです。

ることで入院につながります。

問 どこで不良債権の改善をしようとしているか

答 真剣に考えた数字です。

問 居宅介護支援事業は、収益が見込めない事業では

答 病院患者をサポートす

問 経営改善検討委員のメンバーは

答 コンサル、民間病院の事務長、医師、有識者です。

産業部

質疑

問 農免農道整備事業の事業量は

答 平成18年度着手の村岡区市原から宿までの区間、延長420mの道路改良工事を実施します。

問 観光振興、カニ検定の実施内容は

答 全国有数のカニの町の特色を生かし、全国初の「カニをテーマにした検定」でさらに知名度を高めて全国に観光PRを展開します。

問 和牛振興公社の運営補

助金、経営収支改善の取り組みは

答 収支改善の取り組みと合わせて今後の方向についても役員会で検討を重ねています。早期に改善報告できるようにと考えています。

問 村岡有機センター増設による良質堆肥供給技術の確立は万全か

答 施設整備により、初期発酵、堆肥熟成が促進され、一層良質な堆肥が生産可能となります。堆肥実証農地で改良普及センターの指導を受け製品の改善を目指します。

問 村岡有機センターの運

営費、赤字補填行政の体質脱皮は

答 品質向上により販売量の拡大、運営費の削減を図って経営自立を目指していただき、早期に費用負担の協議を指定管理者と行いたいと思います。

問 水産振興、資源回復支援事業の内容は

答 国の資源回復計画実施に伴う休業期間の30日追加措置や減船に対し、国・県に準じて経済的支援するものです。



シーズンに備えて養浜すすむ

質疑

問 遠距離通学援助の上限額にならない地域もあり、実質的な地域間格差がある。上限額の根拠と保護者負担分の集金方法は

答 香住区余部の中学生の通学定期券の額を基準にしています。その2分の1を中学生の助成上限額とし、さらにその2分の1を小学

生の上限額としました。

香住区は、従来どおり、村岡区、小代区は、現物給付で助成相当額をバス会社に支払います。

問 中学校寄宿舎入寮生徒の保護者に負担を求める根拠は

答 管理規則の8条の「一部を保護者に負担させることができる」規定を適用しています。

問 学校給食費の未納状況と理由は

答 香住区で平成17年度以前からの未納が2世帯ありますが、経済的理由では無く、モラルの問題と考えています。

問 子育て子育て支援センターの設置状況と取り組み内容は

答 香住区は臨時職員1名、村岡区は嘱託職員1名と臨

時職員2名、小代区は臨時職員1名で3区に設置しています。取り組み内容は、子育て学習と相談、子育て情報と交流の機会を提供しています。

問 問題を抱える子ども等の自立支援事業の内容は

答 県の新規事業で現在のところ詳細は不明ですが、香住区で行っています。適応教室と同様の内容と考えて

います。

問 体験型環境学習事業の実施方法は

答 小学3年生を対象にしています。地域の協力を得ながら、田畑や里山、川や海岸で栽培、飼育、自然観察などを通して自然の大切さを知ることが目的にしています。

総括

各部毎の審査を終えて最終日に町長、助役と教育長の出席を求めさらに踏み込んで質疑を行ないました。

問 行財政改革推進管理委員会の考え方は

答 他市町では、行革委員会を推進委員会として存続させていますが、本町は解散していますので新たな委員会を設置し、行革大綱の進行を町民の目で確認していただきます。

問 町有地売却にあたり、入札最低価格の正当性、透明性をどのように確保するのか

また、買い手の規制と売れなかつた場合は
答 専門家の鑑定の80%を最低価格として公表し、5%を入札保証金とします。

問 町有地売却にあたり、入札最低価格の正当性、透明性をどのように確保するのか

答 不動産関係者、暴力団、町税の滞納者は入札できません。売れなかつた場合は、再度検討します。

問 町の通学対策などから子育て支援、少子化対策を本場に重点施策と考えているのか疑問に思うが

答 通学費は、財政的に好転すれば再考します。

問 本年10月に鳥取で全国畜産共進会（全共）が開催されるが、出品牛に対する支援策は

答 体積の小さい但馬牛の評価が下がっている折、サシの部分の甘み成分も評価の対象になる全共出品メス

問 香住海岸ルネッサンス計画の今後の見通しは

答 19年度中に県事業分は完了し、町分の交流広場、進入路などの基盤整備も平成20年に終わります。



自信作ずらり

平成19年度一般会計、11特別・2企業会計原案を可決！

反対討論

財政再建の大事な年に位置付けているが、低利の借換・借金返済の努力をしないで財政調整基金・減債基金を低利の預金にしている。

10年、20年後の町を考えると子供たちが大切にされ、子育て世代を支えるメッセージが大切だ。

公民館などの利用料を原則有料としているが、町民と協働のまちづくりは危うい。

賛成討論

予算特別委員会で慎重に審査を行ったが、町有地売却や手数料・利用料を見直し、また、新規事業を抑制し、人件費補助金も削減する厳しい予算となっている。

しかし、行財政健全化にむけて的確に事業実施を位置付けるなど2万2000町民の生活を守り、将来を切り開いていく為に大切な予算である。

職員給与を七千万円削減する

提案説明

平成19年度の予算編成に当たり財源不足が発生しました。

このため、公有地の売却で1億円の歳入増をはかり、物件費・補助費の削減と普通建設の抑制で1億2000万円、人件費で1億7千

万円を削減して財源不足を確保するため一般職員3.5%から管理職5%の職員給与の削減にご理解を得て提案しております。

採決

原案を賛成多数で可決しました。



若い力が支える

採決

討論なしの賛成多数で原案を可決しました。

問 厳しい財政状況を招いた責任が職員にあるのか
答 町民と行政の関係において、職員も町長と一体の責任があると考えます。

問 職員の世代同居の実態と年代別削減額を示せ
答 いずれも把握、試算をしていますが、平均の40代で年22万円の減額になります。

問 町民の目線で妥当な減額と考えるか

答 町民の一般的給与ペースとの格差は正で考えると十分ではありません。

問 昨年の12月議会答弁と温度差があり、財政改革に不安を感じるがどうか
答 地方交付税など情勢の変化に柔軟に対応している結果です。



明日のために！

手数料の見直し

問 合併協定書の約束は、どうなっているのか

2年で変えるのか

答 合併協定書は生きていますが、財政改善の見地で総点検しています。その中で手数料の値上げも状況の変化に対応するものです。

問 2500円から3000円に値上げて住民は「またか」という思いだが

答 世帯あたりの年の利用件数、金銭的負担はわずかですが、感覚的にその思い

はあると思いますし、住民に説明して理解を求めます。

問 行革大綱に基づく値上げと思うが、処理コスト削減の努力をしているのか

答 電算機利用で処理コストを削減していますが、証明書一件当たり369円かかっています。

反対討論

・住民に説明をして理解を得るといふが、条例施行は4月1日で期間が無い。

使用料も見直し

問 使用料を取ることによって社会教育活動が衰退すると思うが

答 応分の負担をして活動するスタイル推進にご理解をお願いいたします。

問 ママさんバレーや子供たちの利用料は

答 基本的には5割減免ですが、夜間照明利用の経費はいただきます。

問 地域福祉センターの夜間利用は可能になるのか

答 何らかの形で管理面の

対応をします。

問 議員が議会報告をするために使用する場合はどうなるか

答 議員個々の使用は減免対象になりませんが、議会としての利用は減免対象になると考えています。

反対討論

・町有施設利用を有料にする発想は貧困だ。まちづくりの考え方に逆行する。

町福祉金も2割をカット

問 2割カットする提案だが、対象者は何人おられるのか

答 身障1級と2級の方が504人、療育手帳A判定の方が53人で合わせて557人です。

問 他市町の状況はどうなっているか

答 新温泉町が月額1000円、豊岡市が月額2000円、養父市が1250円

です。朝来市は制度がありません。

問 精神障害者は1級のみ対象だが、1級、2級の割合はどうなっているか

答 新温泉町は2級も対象にならなっているが、香美町でもできないか

答 1級が6人、2級の方が29人おられます。現時点では、2級の方は対象として考えていません。

問 制度改正で対象外になる方があるのではないかと

答 対象から外れた方はありません。

問 本来、この種の支給金には、所得制限を設けるべきではないか

答 所得制限ラインの設定は困難です。おっしゃる通りです。

消火栓備品の1割を地元負担

問 消防委員会への諮問はどうなっているか

答 委員会は、消防団の全体的な検討をしていただくためのものであり、諮問はしていません。旧町で異なっていた負担割合を一割負担で統一しました。

問 地元の負担金額はどのくらいになるか

答 平成19年度は、ホース40本、格納箱30個、筒先10本、ノズル10個ほかで総額193万円を予算化していますが、購入額の一割が地元負担になります。



応分の負担。う～ん!?

請 願

香美町における義務教育終了までの

通学対策に関わる請願書

村岡区のPTA関係者が「町内全域で、幼稚園から義務教育終了までの通学対策に関わる費用の全額を公費で賄うべし」とした請願は、文教民生常任委員会に付託され、同委員会で審査の結果「不採択」、27日の本会議でも反対多数で「不採択」となりました。

「請願の趣旨」

この香美町で生まれ育った若者たちが、安心して帰り住み、そして、教育費の負担を考えずに、安心して子供を産み育てられるように、行政の、子育て・教育に対する支援や条件整備を強く望みます。

通学対策対象者は、ごく少数かもしれませんが、町内に居住している園児・児童・生徒はあくまでも同じ条件で義務教育を受けさせるべきという考えに変わりなく、このたびの町教育委員会の改正案を100%受け入れることはできません。

「請願事項」

幼稚園や学校の近隣に居住していて通学費等の費用がかからない家庭と、距離があるゆえに費用を負担して、JRや全但バスで通学させている家庭との格差についてはその全額を公費で賄うことで、義務教育の公平性を保つ。他4件

請願者 兎塚中学校PTA

代表者 黒田和良

外11団体

文教民生常任委員会に審査を付託

本会議での委員長への審査報告

請願者から教育委員会の説明会でも諸手を挙げて賛成ではない。少子化も進行している町内の保護者同士の格差をなくすため請願したとの説明があった。

委員会では次のような質疑、討論があり、採決の結果、賛成2、反対2、同数となり、委員長が否決とし、請願不採択となった。

委員会審査

質疑

問(委員) 請願者は村岡区に限られているが他地区には理解されなかったのか、

答(請願者) 全町に理解されるようPTA代表者に文

書で要請したが、結果的に文書のみで終わった。

本会議

反対討論

・財政も厳しい、心苦しいが辛抱して欲しい。
・できれば負担はさけたいが、やってみて見直しも。

反対討論

・通学費、寄宿舎費を全額公費は公平でない。
・行革で負担を求めている。ここは辛抱してもらおうべき。

賛成討論

・少子化対策は喫緊の課題、本町だけが後退する。
・子育て世代の負担は軽くせよ。議員報酬だけを聖域にした。

賛成討論

・村岡区の補助制度を全町に広げるべきだ。
・義務教育は行政が責任を持つべき、行政の責務だ。

委員会採決

採決

不採択

請願不採択

通学の安全確保は！



今後10年間の基本構想・計画案

香美町総合計画を

全員賛成で可決しました

提案要旨

地方分権改革が進み、国と地方は対等・協力の関係へ転換が迫られ、それぞれの自治体は、地域の特性を生かして、個性豊かで活力に満ちた魅力ある「まちづくり」を自己決定、自己責任の理念に基づき進めていくことが求められています。

産業振興、少子高齢化など行政課題は山積しています。

他方、地方交付税など財政状況の先行きは不透明であり、一層、厳しい運営を余儀なくされています。

そうした中において「新町まちづくり計画」との整合を図り、新たなニーズや課題を踏まえて向こう10年間の新生香美町「総合計画」を策定しました。本計画は、本町のめざす町づくり像とその長期的な展望を示すものです。



架け替え近い 余部鉄橋

質疑

問 町民主体を強調した計画に思えるが、町の主導性責任をどう考えているのか

答 行政と住民が連携してまちづくりを進めなければ地域の発展は望めない中で行政の役割と責任は大きいと考えています。

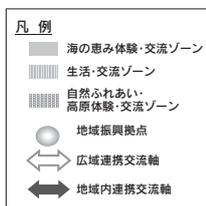
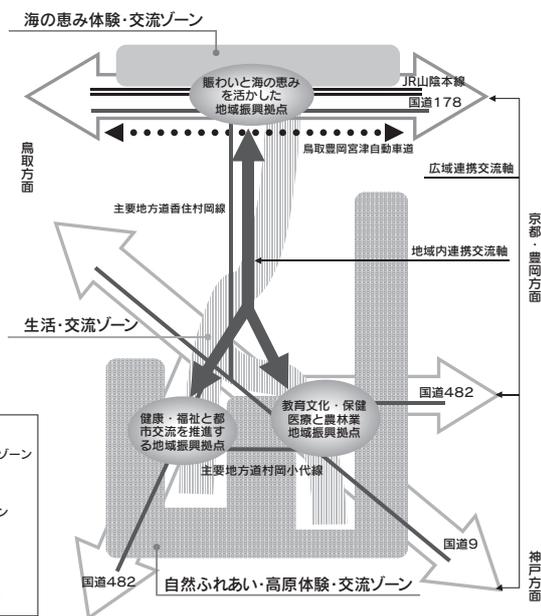
問 地方交付税に依存度が高いが、厳しくなっている

答 従来から努めています

問 観光資源の余部鉄橋を架け替えて定時制を確保し将来にわたり何が望めるのか

答 通勤、通学など住民生活や特に冬季かにシーズンの観光客に安心してご利用いただけると考えています。

地域全体を「人」という文字に例え、人が躍動し連携・交流するイメージ



補正予算

昨夏の農業災害

激甚災害に指定

問 災害復旧費が減額になった理由は

答 道路橋梁・河川災害復旧費が減額になったのは、23件の内4件を平成19年度に復旧工事をするためです。農地・農業用施設災害及び、林業用施設災害については、主には、7月の災害が、一般災害から激甚災害へ指定変更となり、事務手続きの変更を余儀なくされ、年度をまたいで工事をする事になったためです。

問 小・中学校で営繕事業費が計上されているが、その内容は

答 特別支援教室（旧障害児教室）新設のため教室などの一部を改造する必要が生じたためです。対象は、柴山小学校と小代中学校です。

問 職員退職加算納付金が

増額になっているが、その内容と理由は

答 勸奨退職者5人分の加算です。

昨年の夏、発表になった実質公債費比率の結果により、財政改革の更なる推進が必要になり、勸奨退職者の募集に踏み切ったためです。

問 乳幼児医療費助成制度の拡充が、4月1日から予定されている。

その間については、対象者に連絡し、償還払いで対応します。

対象者に受給者証を渡さなければならぬと思うが、印刷費など関連予算は計上されているか

答 確かに、制度は4月1日から拡充されますが、受給者証発行は、7月1日から予定しているため、印刷費などの補正は計上していません。



償還払いとは

病院などの窓口で一旦、請求額の全額を支払い、後で領収書を各地域局（役場）に持参し、助成金を受け取る方法

条例改正

乳幼児等医療費の助成が9歳まで拡充



まだまだ不安な気持ち…

従来から、少子化対策として小学校就学までの乳幼児の医療費・入院費は、5歳児までは無料、6歳児については、その一部を助成していました。今回の改正により一部助成が、小学校3年生（9歳）まで拡充されます。

問 現在、町独自の制度として5歳児までは、医療費「ゼロ」としている。住民の間では、この改正で9歳の子供まで医療費「ゼロ」になると思っているが

まで拡充とするものです。

問 今回の拡充により町の負担はどのくらいになるか

答 助成する費用については、県と町で折半です。そのうち町の負担は、約275万円です。

答 5歳児までは、その通りですが、今回の改正では6歳児の一部助成を9歳児

町政を問う

3月定例会での一般質問は、3月22日から26日まで11名の議員が町政全般について質問を行いました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。



改革はプロの手で…



本庁舎への移転が望まれる教育委員会

住民の負担を限りなく軽減し、行政サービス充実の



小林 利明 議員

諮問委員会偏重を改めないか 検証の仕組みとして理解を

ための行政改革の成否は、プロである行政職員の意欲の有無にかかっている。

素人集団に町の将来や基本方針、さらに細部にわたる計画まで判断を仰いでいるようでは、本町の将来に重大な結果を招きかねない。

人選に疑問の声もある上



寺川 秀志 議員

財政再建元年としての取り組みは 財政健全化へ全力で取り組みます

平成19年度予算が提案されたが、財政再建元年としてどのように取り組まれたか。また、歳出の削減だけでは限度があり、歳入増への施策が必要であるが

- 一、歳入不足の解決策は
- 一、産業振興による歳入増への方策は
- 一、本庁舎への主要部所の一極集中による削減策は
- 一、固定資産税の再評価は
- 一、職員の定年退職後の再雇用の見直しは
- 一、香住病院の再建築は

円削減する取り組みをしました。歳入は町有地の売却。歳出は18年度の補助金、使用料等の削減をさらにお願いし、足りない部分を人件費1億7千万円ぐらい削減しました。新たな歳入増の方策は観光を中心に、多くの観光客に来て頂く施策を進めたい。組織の問題は職員が有効に業務を行うよう、連携システムを再構築し、全力で取り組んでいきます。

に責任の伴わない諮問委員会偏重の行政運営を改める考えは無いのか
併せて、議会制民主主義のもとでの民意をどのように理解されているのか

町長 提案のための考
え方を検証する仕組みの諮問委員会と公選で選ばれた議会の権能は区別して位置づけていますので、ご理解いただきたいと思います。町の方針を最終的に判断いただくのは、議会であります。



通行止解除は、いつ

町道岩小屋線は16年に鳥取県境付近の道路に災害が



吉田 増夫 議員

町道岩小屋線の通行止解除は 早く実現できるように努力します

発生し、18年4月に復旧工事も完了したが、7月の豪雨により、土砂崩れに見舞われ現在も復旧されず通行止めとなっている。復旧工事はいつになるのか。
また、町道岩小屋線が国道482号のルートとなっていると聞くがどうか伺う

町長 町道岩小屋線は今年の7月末には完成予定となっておりますが、完成後総点検し開通するかしないか判断したいと県は考えているようです。また、国道ルートは現在、町道岩小屋線を国道482号に予定告示されており、早急に国道

認定いただくよう、要望事項の一つに入れ、強く要望しております。町道の開通と、両面の観点から、県と4月以降早急に詰めをして、早く実現できるように努力したいと思っております。



新たな取組み 青パト



岡田 公男 議員

行政の成果と今後の取り組みは 一地域に偏らない対応を

これまでの質問事項について成果を伺う
(1)地域の隔々まで目配りのきいた均衡ある町づくり
(2)児童青少年の健全育成
(3)ふるさと教育の推進

町長 (1)社会基盤整備は一地域に偏らない対応をします。
(2)住民の皆さんと、町の青

③経費の削減に不断の努力で取り組みます。
④適宜それらに対応できる努力をしてまいります。

次4項目について伺う
①財政運営の健全化対策として人件費削減の適正人員
②給与費の見直し、引き下げの具体的取り組み
③経常的経費の削減をどのように実践していくのか
④野良猫、野良犬対策

色防犯パトロール隊による対応を進めてまいります。
(3)方向性、見通しに成果を得ました。今後も成果を踏まえて力強く実践します。
①類似団体と比較、大体妥当と思っております。
②2年後、財政状況を見て新たな検討を行ないます。

③経費の削減に不断の努力で取り組みます。
④適宜それらに対応できる努力をしてまいります。



校風づくりの主役に期待



老人、子供の安全確保を

その地の経済・産業・文化などすべての領域において、住民にとり魅力ある町であるには、教育の最高学府である高校が活気を呈することが重要であるし不可



上田 勝幸 議員

教育長 中学でも生徒の適正・能力・目的意識など

のではないかと来に明るい展望が持てない

“魅力ある校風づくり”中学生が進んで行きたいと思う学校づくりをして頂くことが大事です。

高校の定員割れをどう考えるか 魅力ある校風づくりに取組んで貰いたい

欠だと思う。ところが近年定員が確保できず、定員割れが続いている。このままでは高校の存続が危惧される状況にある。何とか高校を再生できないものか。地元の人が地元の高校に愛着と誇りを持たねば地元の将来に明るい展望が持てない

本町では地方バスの運行対策で5000万円の補助金



西坂 秀美 議員

を払っている。毎年増える傾向にあり、町長も見直し対象にリストアップしている。バス路線の維持対策費に係る経費の節減、過疎地域の住民の交通手段の確保、児童生徒の安全の確保を考えて町民バスの導入を。補助金は毎年消えてゆく。

町長 最近では年々、町負担が増えている状況にあります。町負担が少なくなる方法があれば検討したい

としたいと思います。高齢者の方々の必要最低限の足を、安い費用でどう確保していくのか、高齢化対策の一つとして、行革の一つとして検討してまいりたいと思います。

行革の観点から町民バスの導入を 行革の一つとして検討します

行革の観点から町民バスを導入し、老人、児童生徒は無料とした町民福祉バスとする考えはないか

をします。ご提案のように改善、工夫で乗り越えられないか検討をします。



わたしたちは、どうなるの？

公社設立の目的は旧美方町の基幹産業である畜産振興を図る為にこの公社で飼育した牛を肉の加工所でさばき、調理してステーキハウス（石楠花）で食べても



西村 伸一 議員

町長 この公社は旧美方町時代に和牛の振興だけでなく、一体的な地域振興

らう構想であるとの認識はしているが、その和牛振興公社は16年間の年月が経過する中で累積赤字は増加の一途である。我が町も財政改革の真只中であり、公社の延命治療策を町が支援する余裕はないと思う。
町長の所見を問う

どうするのか和牛振興公社 早急に対処する時期です



いきとどいた まちづくりを



長瀬 幸夫 議員

一、合併協議会での現地解
決型とは何であったか

二、イントラネットを利用した、公民館等を窓口とした住民サービスの考えは
三、職員の地域担当を決めて出向くサービスは
四、縦割りの古い体質から協力的体制ができるグループ制に
五、目玉としての改革は考

えていないか。マスメディアに利用されずに利用するチャンスと思うが
町長 一、現地解決型は地域局毎で知恵を出して特色ある住民対応が高めるように指示します。
二、住民票、印鑑証明、納

税証明等の手続きができませんが返信ができません。情報化時代に遅れを取らないように取組みをします。
三、職員の地域担当は幹部職員を割り当て具体化をします。
四、組織の流動化、機動的な取り扱いについて関連をした仕事ができる大きな係でスタートします。
五、職員の提案を取り入れ施策に反映をします。

行財政改革の取組みは 職員の斬新な発想を施策へ展開



猿追い犬 決め手となるか



ご迷惑をおかけします

賢く、しかも横暴になつて、小代区の猿はだんだんと



古岡 菊雄 議員

ほとんどの野菜等を食害し、農業振興は図れない。また、人家内に進入して果物、白米等をむさぼり、人身被害も発生する危機的な状況にある。いろいろな追い払い方策を講じてはいるが決め手にはなっていない。安心して農業ができ、安心して

町長 人間と余り変らない知恵を持つている猿に、一つだけの特効薬の方策はありません。檻を設置して

捕獲する方策も効果があがっているし、出石で引き取ってくれる方があるので檻を増やして捕獲します。また、猿追い犬の訓練をしています。各集落に一頭は置いて追い払いつとめます。更に駆除班に依頼して必要な措置をとってもらい、猿の総数を減らすことに積極的に取り組んでいきます。

抜本的な野猿対策を今すぐ!! 駆除班に依頼し総数減を図ります

最近、(財)クリエイトセンタ―最終処分場に搬入するダンプカーの交通量が急激に増えているように思う。住民の皆さんの指摘も多い。矢田橋周辺の交通渋滞のこ

町長 当初の計画では平成13年から23年までの10

善を図ることに努めたいと思います。



浜上 勇人 議員

ともあり、住民生活に多大の影響がでているが、デー夕を示せ。円山川改修の残土搬入によるものといわれているがどうなのか。搬入経路の変更や、道路の減耗についてどう考えているのか。また、最終処分場の埋め立ての状況は施設設置時の予定に比べてどうなのか

年間91万㎡の受け入れ予定です。円山川関係の車両は17年度は一日あたり34台だったものが18年度84台に増えています。一日当たりの台数制限や搬入経路はいろいろな対策を講じています。道路の損耗については補修費用を含めて話し合いをしています。問題があれば一つずつ連絡をとって改善を図ることに努めたいと思います。

ダンプカーの通行が増えていないか？ 連絡をとって改善を図ります

人事

人権擁護委員

人権擁護委員として、次の2名の方の推薦に同意しました。ご活躍を期待します。



香美町村岡区日影668番地
にしむらけい いち
西村計一さん



香美町香住区小原616番地
いしべけん のう
石部賢應さん



香美町香住区香住1626番地の1
たむらかず や
田村和也さん

5月30日に任期満了となる教育委員会委員について、次の方の選任に同意しました。ご活躍を期待します。

教育委員会委員

兵庫県後期高齢者医療
広域連合協議会議員
平成20年度からスタートする広域連合（詳細は、議会だより第8号をご覧下さい）の議会議員に、藤原久嗣町長が当選されました。



兵庫県後期高齢者医療 広域連合協議会議員

- 後垣 晶一
- 寺川 秀志
- 西川 誠一
- 岡田 公男
- 吉田 増夫
- 橘 秀夫

本年4月に美方郡広域事務組合と美方広域消防事務組合との統合により、議員定数に変更が生じたことに伴う同議会議員の選任がありました。

これにより、美方郡広域事務組合協議会議員は、次の6名となりました。

美方郡広域事務組合 議会議員



食味、全国一を目指して



白岩安喜夫 議員

実質公債費比率28・8%は香美町に大きな重圧となる。

産業振興こそ町の発展の基本だ！ 皆さんの知恵を借りて取り組めます

つて町民を不安に陥れていく。

昨今の町の最重点課題は、財政の健全化であるが、将来、若者が定住し雇用の場がひらけ、所得が増高することが町の発展の基本であり、農林水産業こそ町の基幹産業である。澁川平を中

心とした山岳観光を視野にした農林業の振興や、香住港の将来展望をどう考えているのか

町長

澁川平を中心に山の地域のすばらしさを有効に活用しながら新しいまちづくりを進めたいと思

ます。但馬牛を中心とした畜産振興、堆肥を利用した有機栽培などを一体的にアピールしていければ、今後大いに期待ができます。山岳観光については自然のすばらしさをよく理解していますので、多くの皆さんの知恵を借りながら取り組みます。漁業振興は資源確保など難しい問題もありますが、国、県の支援を得ながら手だてを講じます。

所管事務調査報告

総務常任委員会

委員長 森 利秋

一・はじめに

平成18年度の所管事務調査は、行財政改革大綱、総合計画、地域協議会について調査をすることとした。

一・所管事務調査報告

第1回委員会

・平成18年度の所管事務調査について

第2回委員会

・総務部の平成18年度事業について

第3回委員会

・デジタル放送について

第4回委員会

・小代区地域協議会の取

組み状況について

・村岡区地域協議会の取り組み状況について

第6回委員会

・香住区地域協議会の取り組み状況について

第7回委員会

・行財政改革について

第8回委員会

・行財政改革について

・香美町総合計画について

・行財政改革について

第9回委員会

・行財政改革について

第10回委員会

・香美町総合計画(案)

・香美町行財政改革大綱について

・第11回委員会

第11回委員会

・所管事務調査報告書のまとめ

文教民生常任委員会

委員長 上田 勝幸

一・はじめに

平成18年度の所管事務調査は、病院問題、中高一貫教育、中学校の統合問題、広域ゴミ問題を中心に調査を行うこととした。

一・所管事務調査報告

第1回委員会

①病院問題

②中高一貫教育

③中学校の統合問題

④広域ゴミ問題 他

第2回委員会

・健康福祉部の18年度事業について

・香住病院の18年度事業について

・教育委員会の18年度事業について

第3回委員会

・行政視察について

第6回委員会

・行政視察の研修内容の確認

第7回委員会

・行政視察

第8回委員会

・今後の所管事務調査項目について

第10回委員会

・公立香住総合病院の療養病床への転換の経過と現状の課題について

・患者の動向について

第11回委員会

・公立香住総合病院の改革の方向付けについて

・不良債務の対処について

・予算における「調整額」の取り扱いについて

・所管事務調査報告書のまとめ

産業建設常任委員会

委員長 後垣 晶一

一・はじめに

平成18年度の所管事務調査は、畜産(但馬牛)の振興を中心に調査を行うこととした。

一・所管事務調査報告

第1回委員会

・平成18年度の所管事務調査について

第2回委員会

・産業部の平成18年度事業について

・建設部の平成18年度事業について

第3回委員会

・行政視察について

第5回委員会

・行政視察

第7回委員会

・三重県松阪市役所
・「和田金」牧場
・子牛品評会
・兵庫県和牛共進会を視察

第8回委員会

・村岡有機センター及び小代堆肥センターの現状と課題について

・小代堆肥センターを視察

・農林課より現状と課題について説明

・和牛振興公社の現状と課題について

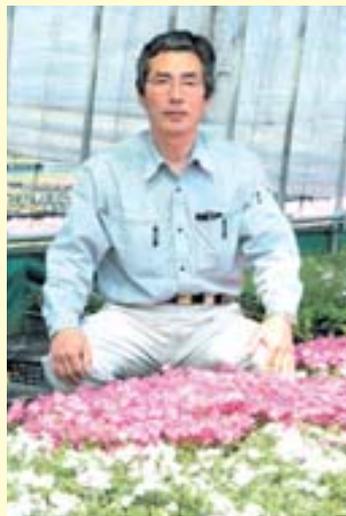
・産業部長より暖冬対策について説明

・所管事務調査報告書のまとめ



二人、二人にあり

(香住区)



吉田 健治 氏

海の町香住にあってグラウンドカバーの生産をされ、香住区で異彩を放っておられる、吉田健治氏に花づくりについて話を聞かせていただきました。

グラウンドカバープランツとは、地面を被う植物の意味で、地面のほかに壁やフェンスなどを緑で飾る植物のことです。品種は、西洋キツタ、シバザクラ、マツバギク等100種類。

出会いから

今の仕事はどのようなきっかけで、いつ頃からはじめられましたか

当時の豊岡農業改良普及所の勧めで1市6町の9人の有志で北但グラウンドカバー生産組合を設立することになりました。昭和54年より正式に組合として発足し活動をはじめました。

どのような植物を栽培され、販売されていますか

地被植物 西洋キツタ、シバザクラ等です。

現在までに色々な苦労があったと思いますが

見込み生産のため、品物がさばけずに処分したり、平成2年の台風19号では生産基盤である最初の圃場が、大災害に見舞われ大きな被害を受けたため一時挫折しました。

一時挫折後、どのように乗り切られましたか、そして苦労が報われたと思われたときは

今の場所に移り、何とかしたいという思いだけで、無我夢中で頑張り、乗り越えました。

満足のいく品物が出来上がり、取引先からねぎらいのことばをいただいたときは、これからももっといい物を作らなければと思っています。

新たな発想で

今後の営業目標は

現在の厳しい低価格化の時代に対応するため、生産から販売のスタイルに変えて1年が経ちました。これからは質とサービスをモットーに、公共需要から一見

みどり園芸吉田氏の足跡

高校卒業後、浜松市で3年間観葉植物の研修を受ける。昭和53年、北但の有志9人でグラウンドカバーの学習会をはじめ、翌54年、同志9人と北但グラウンドカバー生産組合を設立し、本格的に生産を始める。生産に取組んで28年、その間アメリカ、カナダへの視察、そして幾多の苦難に遭遇されたが、夢と情熱で乗り越えられる。平成18年、新たな希望と飛躍を求めて組合を退会される。現在はネットでの産直、三谷地区の交流センター朝市での直売等、忙しく活動をされている。また、香美町町花、町木選定委員としても活躍され、香美町の花づくりにも積極的に提言をされている。

資源の活用を

議会、行政に対して何かありましたら

隠れた景観資源を活用して特色ある地域づくりで、元気な町にしていきたいと思っています。

提言として、香住海岸今子浦の尾根を自然に触れながら散策できる遊歩道をつ



三谷地区にある生産圃場

編集後記

今年の桜の季節は短く桜を楽しむ間もなく5月になりました。3月定例議会も終了、財政再建元年として平成19年度がスタートしました。

住民の皆様には財政厳しい中、何かと負担を強いることばかりですが、一日も早く厳しい財政状況から脱却して明るい豊かな香美町を築き上げなければと思っています。

今後香美町議会にご支援、ご協力をお願いいたします。

(T)

議会広報特別委員会

委員長	寺川 秀志
副委員長	小林 利明
委員	吉田 範明
	川端 政明
	西坂 秀美
	岡田 公男
	浜上 勇人